学校番号	２０２

令和８年度　理科

教科	理科	科目	ライフサイエンス	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

身の回りの自然事象等と科学がどのように関連しているかということを理解してもらいます。そのために実験・観察や画像・映像・模型等を用いて、そのイメージを持ちやすいように支援したいと考えています。

2　学習の到達目標

・植物の生育や作業機械のしくみなど、生活に関連した基礎的な科学知識や、観察・記録の方法などの、科学探究に必要な技能を身につける。
・観察対象物の特徴や、みられた変化を通して、それがどのようなしくみによって成り立つかや、どのように他の事柄と関係していくかを科学的に考察して導き出し、表現する力を身につける。
・生活に関連した現象について、対象物を尊重して扱う態度とともに、自主的に調べたり発表したりする力を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日常生活の中の自然事象を科学的な理論と結び付けて理解し、それらを活用する力を身に付けている。また実験・観察などを安全に行うことができ、その基本的な技能を身に付けている。	身の回りの科学的事象に対して、実験・観察などの探究の過程を通して、情報の収集、仮説・計画の設定、実験・観察の結果やデータの分析・考察などの探究の方法を習得するとともに、実験・観察レポートの作成や活動報告発表を行うことで、対象の事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現する力を身に付けている。	科学的事象に対して、主体的に関わろうとしている。またそれらから得た知識や気付きにより、自ら課題を設定し、その課題を科学的に解決しようとする態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	身の周りの科学について知ろう	・植物を育てる（畑実習） ・外部講師との連携授業（機械分野　ロボットアームの作成、またそれに関する課題発表）	a. 畑実習を通して、畑の整理・作物の栽培・収穫を行い、作物やその栽培の過程についての知識を身に付ける。機械工学分野の知識と、ロボットアームの組み立て作業を通して、説明書から実物を作る技術を身に付ける。 b. 畑実習の過程や育てる作物、ロボットアームの作成・改善について、実験・観察をしたり、情報を収集したりして、レポートにまとめることを通して自然事象を科学的に分析し、表現する方法を身に付ける。 c. 畑実習やロボットアームの組み立てに主体的に関わろうとしている。また自ら課題を設定し、その課題を科学的に解決しようとする態度を身に付けている。	確認テスト 実験レポート	実験レポート 提出ノート 発表	提出ノート 発表 振り返りシート
2学期		・植物を育てる（畑実習） ・身の周りの科学実験・観察・実習	a. 畑実習を通して、畑の整理・作物の栽培・収穫を行い、作物やその栽培の過程についての知識を身に付ける。身の周りの自然事象における科学実験を通して、その科学的な理論を理解する。 b. 畑実習の過程や育てる作物について、またその他の実験・観察を通して、それらに関する情報を収集し、レポートにまとめることを通して自然事象を科学的に分析し、表現する方法を身に付ける。 c. 畑実習や実験・観察に主体的に関わろうとしている。また自ら課題を設定し、その課題を科学的に解決しようとする態度を身に付けている。	確認テスト 実験レポート	実験レポート 提出ノート 発表	提出ノート 発表 振り返りシート

3学期	ライフサイエンスの授業をつくろう	・課題発表	a. 授業で取り扱うという想定で、実験・観察の情報収集を行い、プレゼンテーションソフトを用いて発表資料を作成する技術を身に付ける。 b. 実験・観察の情報収集、計画の設定、授業のデザインを行い、プレゼンテーション資料の作成や、発表によって表現する力を身に付けている。 c. 自ら課題を設定し、主体的にプレゼンテーションの作成に取り組むことできる。他者の取り組みを評価し、相互評価を通して自らの発表の改善に取り組む。	レポート	レポート 提出ノート 発表	 提出ノート 発表 振り返りシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度